

第2次神崎市総合計画（後期基本計画）素案に対するパブリックコメント結果について

第2次神崎市総合計画は、あらゆる時代の変化があっても、進むべき方向を見失わずに市政運営を展開するための長期的な指針であり、行財政運営の最上位計画と位置付けられています。

今年度（令和4年度）は、第2次神崎市総合計画（前期基本計画）の終了年度を迎えるため、前期基本計画における施策の進捗状況や社会環境の変化に対応した見直しを行い、第2次神崎市総合計画（後期基本計画）を策定するものです。

つきましては、「第2次神崎市総合計画（後期基本計画）素案」について、市民の皆様からご意見等を募集するため、パブリックコメントを実施いたしました。

提出されたご意見とその回答について、次のとおり取りまとめを行いましたので、ご参照ください。

- 1 募集案件：第2次神崎市総合計画（後期基本計画）素案
- 2 募集期間：令和4年12月23日（金）～令和5年1月20日（金）
- 3 担当部署：総務企画部 企画課 企画係
- 4 提出数：2通（意見数 6件）

番号	ご意見	回答
1	様々な部・課と西九州大学とのタイアップを深化する。（教育学習にふるさと納税、大学教室を使った講座、大学が受け入れ可能な授業への参加） [68歳、女性、神埼町]	現在、様々な部・課において、西九州大学と連携した取組みを実施しています。令和4年度は、西九州大学が行う、菱の皮からとったエキスをを使用した化粧品製造を支援するため、「ふるさとチョイス」においてGCF（ガバメントクラウド）を実施しました。 西九州大学が地域経済等に与える影響は大きいため、今後も西九州大学との取組みは継続していくこととしています。 なお、素案においても「特産品の開発において、西九州大学との連携を強化し、産学官一体となって「神埼ブランド」の創出を推進します。」旨を記載しています。 （54頁、基本理念3 基本方針⑧、基本施策 8-3 特産品開発、地産地消の推進） 頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。

<p>2</p>	<p>高校生を含め、若者たちの知恵や神崎市に対する思いを具象化する。出来るものから始めてみる。</p> <p>[68歳、女性、神埼町]</p>	<p>神崎市では、子供から高齢者まで世代を超えた市民協働のまちづくりを進めています。</p> <p>現状と課題において、「<u>若者から高齢者までの市民へ広く情報の周知を図り、参加者（参画）を増やすことが必要です。</u>」、取組み方針においては、「<u>若者の意見を聞くことやワークショップの開催など、市民参画、協働の機会を提供するとともに、その周知を広く図ることで、まちづくりや地域活性化への市民参画を促進します。</u>」、主な取組み・事業等においては、「<u>若者の意見を聞くこと、ワークショップやパブリックコメントなど市民参画・協働の機会を設定します。</u>」とし、具体的な表現へ変更します。</p> <p>（67頁、基本理念4 基本方針⑪、基本施策 11-1 市民参画・協働の推進、拠点づくり）</p> <p>頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。</p>
<p>3</p>	<p>脊振塵芥処理施設跡地をモミガラ焼却施設として活用できないか。（モミガラは全国的に処理に困窮、生モミガラ散布はメタンガスの豊庫）</p> <p>[68歳、女性、神埼町]</p>	<p>本計画（素案）は、持続可能な開発目標であるSDGsを施策に関連づけて推進することとしています。また、基本理念2においては、地球温暖化防止のためGXの取組みを推進しています。</p> <p>個別施設における具体的な活用方法については、検討を重ねた上、総合計画に基づき個別計画などで示されることとなります。</p> <p>頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。</p>

<p>4</p>	<p>観光地周辺の手入れ（草刈り、若干の工事等）を地域協働の型で予算化（地域への打診）→ふるさと納税使用可能を探る。</p> <p>[68歳、女性、神埼町]</p>	<p>基本理念2 基本方針⑦において、魅力ある観光・交流のまちづくりを進めることとしています。</p> <p>具体的な事業については、検討（ふるさと納税の活用を含む）を重ねた上、実施計画などで示されることとなります。</p> <p>頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。</p>
<p>5</p>	<p>旧庁舎跡地、若年層の子供と保護者が集える公園を含む施設。</p> <p>[68歳、女性、神埼町]</p>	<p>基本理念1 基本方針①において、子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させることとしています。また、基本施策1-2 子育て支援・児童福祉の充実では、児童館等の建設の推進を明記しています。</p> <p>具体的な事業（場所等）については、検討を重ねた上、総合計画に基づき個別計画や実施計画などで示されることとなります。</p> <p>頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。</p>

<p>6</p>	<p>【行政改革に関する件】</p> <p>昨年、12月1日に行われた民生委員・児童委員一斉改選に伴い、民生委員推薦会が開催されました。この会で以下、質問・確認しました。</p> <p>神崎市と脊振町で一人当たりの民生委員が担当する地区の高齢者数が、260人超/一人（神崎市某地区）、35人超/一人（脊振町某地区）であり神崎市の高齢者数が多い分、負担も大きく問題提起した。※いずれも高齢者が最も多い地区を比較した。</p> <p>→事務方より回答あり、区長、公民館長に協力願っているとのこと。※これに児童委員も兼務となると、さらに差が広がり負担も増大すると考える。</p> <p>【要望】</p> <p>合併後、人の転入・転出があり、現在の地区人口に見合った適正な民生委員数が配置されていない。これは双方にとって良いことではなく、社会福祉の面からみても問題です。</p> <p>早急に実態把握、手立てを考えて頂きたい。（総合計画への反映も含む）</p> <p>【参考意見】</p> <p>脊振町民の意見（一部ですが、住民の方々のご意見や考えを伺った）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併前の民生委員割り当てを踏襲するなど人口増減など反映できていない。 ・住民が点在する為、単に人数割り当てだけではなく、環境も考慮が必要など。 ・「佐賀新聞に全国的に民生委員の数が足りない」など記事あり。 <p style="text-align: center;">[64歳、男性、脊振町]</p>	<p>基本理念1 基本方針①において、子育てから介護まで、誰もが安心して暮らせる環境を充実させることとしています。また、基本施策1-3 地域福祉の推進において、民生委員の活動を支援する旨を明記しています。</p> <p>具体的な事業（民生委員数等）については、所管部署にて検討することとなります。</p> <p>頂いたご意見は、神崎市総合計画審議会において、協議させていただきます。</p>
----------	--	---